

12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (沖縄)	◎	コンビニ（経営 企画担当）	来客数の動き	・8月は客単価の押し上げにより、売上は好調だったが、来客数は減少していた。一方、10月は来客数が持ち直し、売上も好調に推移している。
	◎	観光型ホテル （企画担当）	販売量の動き	・7月の販売室数が前年比10%減少に対し、10月は前年比18%増加に転じている。
	○	百貨店（経営担 当）	来客数の動き	・地元客に加えて、アジア圏からのインバウンドが多く来店している。
	○	スーパー（企画 担当）	販売量の動き	・10月は、イベントが相次ぎ、人流が増加したことによる売上増加が顕著である。また、十五夜の関連商材も販売好調であるため、景気は3か月前と比べ回復基調にある。
	○	コンビニ（経営 者）	販売量の動き	・弁当の販売量が増えて、廃棄が減少したため、売上が前年度より上がっている。
	○	家電量販店（営 業担当）	単価の動き	・前年の省エネ家電買換えキャンペーンによる反動減から、売上が回復傾向にある。また、パソコンのOSサポート終了により、パソコンの需要が大きく伸長している。
	○	その他専門店 〔書籍〕（部 長）	来客数の動き	・前年の売上を僅かに上回っている。
	○	その他飲食店 〔バー〕（経営 者）	来客数の動き	・今月上旬は来客数が少ない日もあったが、全体的に客入りが良く、前月と比べて来客数が増えている。
	○	住宅販売会社 （営業担当）	お客様の様子	・マンション、分譲戸建て住宅への問合せや販売状況が好調に推移している。
	□	一般小売店 〔酒〕（店長）	販売量の動き	・物価高は変わらず、人手不足もあり、具体的な対策の効果がみられない。
	□	スーパー（店舗 管理）	来客数の動き	・夏場からの観光需要が継続しているが、当社への恩恵は少ない。個人消費も緩やかに回復しているが、大きな変化はない。
	□	コンビニ（店 長）	お客様の様子	・新規客数や客の来店頻度、買上点数などの定量的な変化はみられない。また、客の声などの定性的な変化もみられない。
	□	衣料品専門店 （経営者）	お客様の様子	・国内客やインバウンドは、3か月前と比べても変わらず来店しているが、県内客は減少傾向にある。
	□	その他専門店 〔陶器〕（製 造）	販売量の動き	・秋期は注文が増えて、イベントも多くあるが、11月に集中するため、現状は変化がない。
	□	旅行代理店（マ ネージャー）	販売量の動き	・販売量は微増ではあるが、販売コストが高くなり減収となっている。
	□	住宅販売会社 （役員）	競争相手の様子	・街中を見ても依然として観光客は増加しているが、住宅市場はそこまで活発化していない。
	▲	その他飲食店 〔ファースト フード〕（総務 部）	来客数の動き	・観光客の動向に左右されやすいため、7月と比較すると今月は悪くなるが、前年同月比では良くなっている。
	▲	通信会社（サー ビス担当）	販売量の動き	・物価上昇の影響により、来客数や購買意欲がやや鈍化している。加えて、新型スマートフォンの入荷待ちが続いていることが、販売機会損失の一因となり、3か月前と比較して景気はやや悪化している。
	▲	観光名所（職 員）	来客数の動き	・9月より来客数が減少傾向にある。インバウンドの落ち込みは感じないが、地元客の入園者数の減少が大きくなっている。
	×	一般レストラン （代表者）	来客数の動き	・祭りや運動会などのイベント、大型レジャー施設開業の影響により、人の流れが変わっているとみられる。
企業 動向 関連 (沖縄)	◎	－	－	－
	○	建設業（経営 者）	受注量や販売量 の動き	・受注に関しては順調である。他社の手持ち工事も多くあるとみている。
	○	輸送業（総務経 理担当）	受注量や販売量 の動き	・前年同月と比べ増収増益である。

	□	食料品製造業（役員）	受注量や販売量の動き	・米を中心とした食料品の価格高騰が続いており、消費者の財布のひもが固くなっている。新首相の発言で円安が進み更に食品価格が上昇しないか懸念がある。
	□	窯業土石業（取締役）	受注量や販売量の動き	・受注は特に変化なく、製造も横ばいの状況である。
	□	輸送業（経営企画室）	それ以外	・季節変動を含めて特段変動がなく、例年どおりの状況である。
	□	会計事務所（所長）	それ以外	・新政権の物価高対策などの内容が明らかになってから、消費や景気動向に影響がでるとみている。
	▲	—	—	—
	×	—	—	—
	◎	—	—	—
雇用 関連 (沖縄)	○	学校〔専門学校〕（就職担当）	求人数の動き	・2027年卒向け求人数が増えてきている。例年、求人を出している一部の企業から、求人が出ていない状況もあるため、総合的にやや良いとみている。
	□	人材派遣会社（総務担当）	求職者数の動き	・求人に対して、求職者との条件が合わず、なかなかマッチングにつながらない。求職者の動きが読めない。
	□	職業安定所（職員）	求人数の動き	・前年同月比で求人数は減少しているが、求人者から人手不足の相談は多い。
	□	学校〔大学〕（就職支援担当）	それ以外	・物価高騰が続いているが、円安の状況が変わらなければ、影響は続くとみている。
	▲	求人情報誌製作会社（審査）	求人数の動き	・コンビニや飲食、観光業、サービス業などで求人数が一服している。時期的な採用需要が落ち着いたほか、最低賃金引上げを懸念した採用の手控えもみられる。
	×	—	—	—